

## 仕様書

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構  
イノベーション推進部

### 1. 件名

研究開発型スタートアップに対する広報活動支援に関する調査

### 2. 目的

企業にとって広報活動は、ステークホルダーとの円滑な接点を構築するための重要な取り組みである。とりわけ、比較的認知度が低いスタートアップにおいては、投資や連携先を得るため、また、製品やサービスの上市の際、顧客や一般消費者への知名度や売り上げを向上させるための成長に直結する活動として、特に重要であると考えられる。しかしながら、資金力や人的リソースの乏しいスタートアップにとって、一般的に広報活動はコスト負担が大きく、二の次の取り組みとされやすく、この活動を公的に支援する意義は大きい。

これまで NEDO は、スタートアップエコシステムの構築・発展を目指し、研究開発型スタートアップ支援事業を実施する中で、J-Startup の国内支援活動等を中心に各種イベントへの参加やプレスリリース等を通じ、研究開発型スタートアップへの広報支援を行ってきた。しかし、この間、コロナ禍による各種イベントの中止やオンライン化、SDGs や地方創生をはじめとする新たな価値観の普及、さらに、ソーシャルネットワーク等の多様なメディア手法の広がり等、未曾有の環境の変化が生じている。

本事業では、研究開発型スタートアップにおける広報活動の促進を目的に、改めてスタートアップに向けた広報活動支援の在り方を調査・分析するとともに、実証調査として、実際に先駆的な広報支援活動を試験的に行う。得られた課題や結果、方法論を取りまとめ、NEDO における中長期的な研究開発型スタートアップ向けの広報支援活動の在り方に関する提言を獲得するものである。

### 3. 内容

#### (1) 研究開発型スタートアップにおける広報支援のデスクトップ調査

インターネットや独自の情報ソースを元に、以下項目に関するデスクトップ調査を行い、J-Startup の国内支援活動及び NEDO 研究開発型スタートアップ支援事業における効果的な広報支援活動の在り方について検討を行う。

- －研究開発型スタートアップの広報支援活動のターゲット層の絞り込み
- －従来のマスメディア（テレビ、新聞、雑誌や広告等）の有用性について
- －近年拡大するデジタルメディア、SNS やインフルエンサー等を活用した新たなメディア手法の効果及び課題について
- －SDGs や地方創生といった新たな価値・理念とのシナジーの可能性について
- －これまでの NEDO の J-Startup 支援及び NEDO 研究開発型スタートアップ支援における広報活動の課題について 等

## (2) 情報発信の試行・効果測定・課題分析

(1) の検討を踏まえ、実際にマスメディアやデジタルメディア等を活用した情報発信を試行的に行う。実施した内容について効果測定と課題分析を行い、検討を深める。

## (3) 成果報告書の作成

(1) ～ (2) の検討結果を整理し、J-Startup を中心とする、NEDO における中長期的な研究開発型スタートアップへの広報支援活動に関する提言を取りまとめ、成果報告書を作成し、委託者に提出する。

## 4. 調査期間

NEDO が指定する日から 2022 年 9 月 30 日（金）まで

## 5. 予算額

1,100 万円以内（税込み）

## 6. 成果報告書

提出期限：2022 年 9 月 30 日（金）

提出方法：NEDO プロジェクトマネジメントシステムによる提出

○2021 年度終了時には中間報告書を、2022 年度終了後には調査報告書を所定の期日までに提出。

記載内容：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って作成の上、提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

## 7. その他

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

以上